


2022年8月吉日

報道機関各位 殿

 **近海郵船株式会社**  
東京都港区芝大門1丁目9番9号  
野村不動産芝大門ビル7階

## NPO 法人日本ウミガメ協議会附属黒島研究所への調査船寄贈について

近海郵船株式会社は、来年2023年に創立100周年を迎えます。  
今まで海に支えられてきた弊社が、これを機に海への恩返しができないかと考え、また、日本郵船グループが推し進めるESG活動に倣い、特に、弊社が日頃運航している国内の海洋保護活動への支援を検討していたところ、この度縁あって、沖縄県八重山諸島の黒島にあるNPO法人日本ウミガメ協議会附属黒島研究所へ、研究支援の為の調査船「AKARI（あかり）」を寄贈致しました。

黒島研究所は、地域海洋生物の研究・保護や、研究成果の展示、環境教育を行うなど、海洋生態系の健全化に努めている施設です。

調査船は、黒島周辺の海域に生息するウミガメの生態調査や、その他の海洋生物の研究保護の為に使用されます。弊社は今後、活動内容を公式ホームページで紹介するなど、黒島研究所の海洋生物保護活動を応援していきます。また、調査船のメンテナンス補助を目的とした寄付を継続して行う予定です。

「AKARI（あかり）」は、現在、既に黒島での活動を開始しております。  
活動の様子は、現在、弊社公式ホームページに専用コーナーを製作中ですので、完成後、近日中にご紹介致します。

《別紙》

1. NPO 法人日本ウミガメ協議会黒島研究所 概要
2. 寄贈船概要

《本件に関する問い合わせ先》

近海郵船株式会社 総務部（担当：寺島・菅原）

Tel：03-5405-8300

以 上

## ◀別紙1▶



# 黒島研究所

Kuroshima Research Station

名称：NPO 法人日本ウミガメ協議会附属黒島研究所  
場所：〒907-1311 沖縄県八重山郡竹富町字黒島 136 番地  
URL：<http://www.kuroshima.org/>



©Google

## 沿革：

- 1973年 国立公園内に指定された海中公園地区の管理と利用を目的として開所
- 1978年 八重山諸島におけるウミガメ類の産卵状況調査を開始
- 1983年 石西礁湖におけるオニヒトデ及びイシサンゴ類の分布調査を開始  
(2005年以降は環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターに移行)
- 1991年 海域におけるウミガメの標識放流調査を開始
- 2002年 財団法人海中公園センターよりNPO法人日本ウミガメ協議会に運営移行
- 2004年 黒島研究所に改名
- 2005年 第16回日本ウミガメ会議（黒島会議）開催
- 2010年 沖縄県立博物館と共催で造礁サンゴ展を開催
- 2017年 公益財団法人社会貢献支援財団 第49回社会貢献者表彰 受賞

加盟団体：沖縄県博物館協会・沖縄生物学会

職員数：3名（常勤2名、非常勤1名）

代表者：若月元樹

## 活動内容

- ① ウミガメ類を取り巻く自然環境の保全に関わる事業
- ② ウミガメ類の研究・保護活動の発展および育成に関する事業
- ③ 日本ウミガメ会議の開催に関する事業
- ④ 会員および関係団体等との相互連絡と情報の収集及び提供に関する事業
- ⑤ 情報誌の作成に関する事業
- ⑥ 水族館や博物館等社会教育施設の運営に関する事業

◀別紙2▶

## 寄贈調査船 概要



寄贈船名： AKARI（あかり）  
船舶種別： 小型船舶（プレジャーボート）  
定員： 10名（船員1名／旅客9名）  
製造： 船体2003年（船外機は2017年交換）  
総トン数： 5トン未満  
船体諸元： 長さ6.33m／幅2.35m／深さ1.05m  
（船舶検査手帳表記）  
船体材質： FRP製  
推進機： 船外機（ヤマハ発動機 2017年製）  
付属物： 陸置き用台車1台